

環境大臣 様

与那国島への自衛隊配備計画に関わる要望書

南北に長く亜熱帯から寒帯の気候帯を含む日本列島には豊かな昆虫相が成立しています。日本の昆虫類は、現在、約3万2千種が記録されていますが、日本列島は大陸との接続と分断など複雑な地史を背景に形成された大小の島々からなるため、固有種や固有亜種が多いことが大きな特徴です。中でも、区系動物地理学上、東洋区に区分される琉球列島は、日本本土にみられない南方系の昆虫相を有している点に加えて、列島の成立の過程で取り残された遺存種が多くみられる点、近隣の地域に近縁な種が生息していない種や生きた化石と呼ばれるような、近縁種に比較してより祖先的な特徴をもつ種が数多くみられる点で特筆されます。

しかしながら、近年、琉球列島の貴重な昆虫類は、開発事業に伴う生息地の破壊や生息環境の悪化、外来種の侵入や定着、マニア等の過剰な採集行為等による攪乱で、非常に危機的な状況に陥っています。

生物多様性の低下は、生態系の機能を損ない、人類の生存を脅かす憂慮すべき事態です。とりわけ昆虫類が、あらゆる生態系において圧倒的な多様性を誇り、生物の生存基盤である食物連鎖の維持に重要な役割を果たしていることを考え合わせると、琉球列島の貴重な昆虫類の多様性を保全することは極めて重要な課題であるといえます。

こうした中で、今般、与那国島へ陸上自衛隊沿岸監視部隊、および航空自衛隊移動警戒隊が配備され、その配置候補地に久部良地区（南牧場）とインビ岳西側周辺が挙げられている等、具体的な計画案が地元住民への説明会で明らかにされたとの報道が「琉球新報」や「八重山毎日新聞」（いずれも2011年11月18日付）に掲載されました。

与那国島には絶滅危惧種の中でも特に絶滅のおそれが高いことから、種の保存法に基づく「国内希少野生動植物種」に指定されたばかり（2011年2月15日付）のヨナグニマルバネクワガタやフチトリゲンゴロウが生息しておりますが、特に、今回の自衛隊配置候補地の一つであるインビ岳周辺の森林はヨナグニマルバネクワガタの同島内における最後に残された主要な生息地であり（下地幸夫2009、『野生生物保護』12（1）：21-26）、今回の配置に伴う関連施設の建設等が同亜

種に対して甚大な影響を及ぼす危険性が著しく高いと考えられます。また、インビ岳西側や久部良地区の牧場内には環境の良好な溜め池が点在しており、フチトリゲンゴロウの生息も予想されます。

さらに、与那国島には「国内希少野生動植物種」に指定されたこの2種以外にも、同島をタイプ産地として記載された種や亜種が30以上、国内では同島のみ分布が確認されている種や亜種が60近くあるなど、わが国における生物多様性の保全上、極めて重要な昆虫類が多数生息しております。島嶼という閉鎖的で面積の限られた場所での開発等による攪乱は、大きな面積をもつ日本本土等に比べて、個々の生物や生態系へのインパクトの程度が極めて大きく、その影響は計り知れません。

このような理由から、与那国島における自衛隊配備計画の策定にあたっては、昆虫類をはじめ動植物の関係学会の専門家を交えて、細部に渡る十分な検討を行ない、同島の生態系に及ぼす影響を最小限度に抑える努力が必要だと考えます。そこで添付の通り、防衛大臣、沖縄県知事および与那国町長宛に、要望書を送付しました。本件に関して、貴職にもご尽力賜りますようお願い申し上げます。もちろん、日本昆虫学会、日本甲虫学会、日本鱗翅学会、日本昆虫分類学会および日本トンボ学会は、専門家集団として本件に関していつでもご協力させていただき用意がございますことも最後に申し添えさせていただきます。

2011年12月23日

日本昆虫学会

会 長 多田内 修

自然保護委員長 石井 実

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館分館動物研究部

日本甲虫学会

会 長 新里 達也

自然保護委員長 高桑 正敏

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館分館動物研究部

日本鱗翅学会

会 長 岸田 泰則

自然保護委員長 石井 実

〒192-0063 東京都八王子市元横山町 2-5-20

矢崎方

日本昆虫分類学会

会 長 大林 延夫

〒790-8566 愛媛県松山市樽味 3-5-7

愛媛大学農学部環境昆虫学研究室

日本トンボ学会

会 長 松木 和雄

自然保護委員長 松木 和雄

〒918-8004 福井県福井市西木田 3-8-18

和田方

* 本件に関わる連絡は下記、荒谷（日本昆虫学会・日本甲虫学会 担当自然保護委員）宛にお願い致します。

日本昆虫学会・日本甲虫学会

担当自然保護委員 荒谷 邦雄

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 番地

九州大学大学院比較社会文化研究院

Tel.& Fax. 092-802-5647

Email araya@scs.kyushu-u.ac.jp